

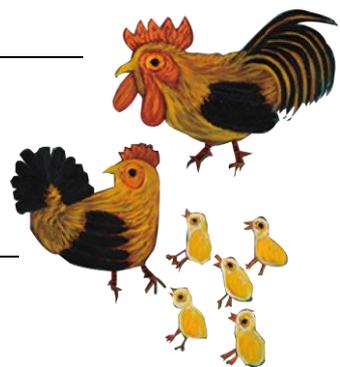
 岐阜県美術館 企画展のご案内  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

# 塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかすにはいられない！ 人生絵日記



塔本シスコ《ひまわりの中で インコ》1987年 個人蔵

展覧会名	「塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかすにはいられない！ 人生絵日記」
会場	岐阜県美術館 展示室2、3（岐阜市宇佐4-1-22）
会期	令和4年4月23日（土）～6月26日（日） 10:00～18:00 ※休館日：毎週月曜日 ※夜間開館：5月20日（金）、6月17日（金）は20:00まで開館 ※展示室の入場は閉館の30分前まで
観覧料	一般 800(700)円 大学生 600(500)円 高校生以下無料（ ）内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難病に関する医療費受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料
主催	岐阜県美術館、中日新聞社
後援	NHK 岐阜放送局



本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：橋本 担当学芸員：鳥羽  
〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22  
TEL 058-271-1313 FAX 058-271-1315

美術館Webサイト：<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail：[hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp](mailto:hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp)

# 塔本シスコ展

# シスコ・パラダイス

## かかすにはいられない！ 人生絵日記

### 本展覧会について

塔本シスコさんは、1913（大正2）年、熊本県郡築村（現・八代市）に生まれました。養父の傳八は、自身のサンフランシスコ行きの夢を託し、彼女をシスコと命名しました。シスコさんが9歳の頃、家業がかたむき、小学校を中退します。その後、奉公を重ね、20歳で結婚します。一男一女を得ましたが、46歳の年、夫が急逝します。心身ともに不調の日々から立ち直るなかで、子どもの頃から憧れていた絵を描くことに夢中になっていきます。

53歳のある日、彼女は大きなキャンバスに油絵を描き始めました。その絵画世界は、何ものにもとらわれない、彼女の胸中に宿る喜びや夢で満たされています。作品の主題は身近な草花や動物たち、そして時間も場所も自由自在にのり越えて、子どもの頃の思い出にまで広がります。生涯にわたって、少女のような純粹さを保ち、自身の喜びと夢を制作の源泉にしていたシスコさんは、「私は死ぬまで絵ば描きましようたい」と絵筆を握り続け、2005年に91歳の人生をとじました。

本展では、これまで広く紹介される機会が少なかったシスコさんの作品を200点以上集め、ほとぼしるように展示室に満ち溢れるシスコ・パラダイスをお楽しみいただきます。

あっと驚く、シスコさんの作品の一つひとつは、まさに彼女自身の人生絵日記です。

こんな素敵な絵を描けるなんて！

輝きを放ち続けるシスコさんに、あなたも会いに来てください。



《もらったラン、もらったシクラメン》1996年



《オノダチの大運動会》2001年

## 塔本シスコ略年譜

- 1913(大正 2)年 2月27日、熊本県八代郡郡築村(現・八代市)の父・西山卯三郎、母・ミセの次女として生まれる。  
生後ほどなくして熊本県下益城郡豊川村(現・宇城市松橋町)の西崎傳八、ワリ夫妻の養女となる。
- 1920(大正 9)年 豊川尋常高等小学校(現・宇城市立豊川小学校)に入学。
- 1922(大正 11)年 西崎家は裕福な農家であったが、事業に失敗し家産が傾き、シスコは農作業と子守など家の手伝いのため小学校4年生で退学。
- 1933(昭和 8)年 塔本末藏と見合い結婚。動物好きの末藏とともに、うさぎやチャボ、小鳥などの小動物を飼う。
- 1943(昭和 18)年 7月、長男・賢一誕生。
- 1945(昭和 20)年 シスコと賢一は熊本県宇土市に疎開。
- 1946(昭和 21)年 1月、長女・和子誕生。鈴虫や金魚を飼い、子どもたちとスケッチを楽しむ。
- 1959(昭和 34)年 11月、末藏、牧尾ダム(長野県)にて事故に巻き込まれ殉職。シスコは体調不良で自宅療養の日々を送る。
- 1961(昭和 36)年 軽い脳溢血で倒れた後、リハビリを兼ねて石を彫り始め、徐々に回復。この頃より賢一は本格的に絵画の制作に取り組む。
- 1966(昭和 41)年 賢一、家を出て働き始める。シスコ、家に残された賢一の画材を使って絵を描き始める。賢一のキャンパスから絵具を削ぎ落として見様見真似で油絵を描く。
- 1969(昭和 44)年 第7回具現美術協会へ初出品し、《私が愛する生物達》で河内賞を受賞。
- 1970(昭和 45)年 賢一と同居のため大阪府枚方市長尾の一軒家へ転居。第8回具現展へ《秋の庭》を出品、奨励賞を受賞し、会友に推挙される。
- 1971(昭和 46)年 第9回具現展、会友賞受賞。
- 1972(昭和 47)年 賢一、覚永浩子と結婚。シスコは枚方市招提の団地で賢一、浩子と同居し、三人で絵を描く生活を始める。シスコは4畳半の自室兼アトリエで絵を描く。団地のまわりや近くの山田池公園がスケッチ場所となる。第10回具現展奨励賞受賞。
- 1973(昭和 48)年 孫・弥麻(みあ、賢一の長女)誕生。賢一と浩子、夫妻で枚方市内で美術教室を始める。
- 1980(昭和 55)年 第33回芦屋市展洋画部門入選。
- 1981(昭和 56)年 第34回芦屋市展洋画部門入選。
- 1989(平成 元)年 初の個展、「塔本シスコ喜寿記念展」(ギャラリー糺/京都)開催。
- 1992(平成 4)年 画集「塔本シスコはキャンパスを耕す」(発行者・塔本賢一/私家版)。
- 1993(平成 5)年 ギャラリーくるせ(大阪)にて個展「塔本シスコ展」開催。個展に合わせ、NHK「おはよう近畿」で「シスコ80歳 キャンパスに広がる夢」が放映される。
- 1995(平成 7)年 故郷・熊本での初個展「塔本シスコはキャンパスを耕す」(熊本県立美術館分館/熊本)開催。
- 1996(平成 8)年 長女・和子逝去。
- 1997(平成 9)年 この頃から飼い始めたキジトラ猫のミー(ミーイ)がしばしば絵に登場するようになる。
- 2001(平成 13)年 貧血で倒れてから認知症を発症。
- 2005(平成 15)年 2月12日、逝去。享年91。



1933~35年頃 シスコと末藏



1971年 スケッチをもつシスコと  
《長尾の田植風景》に描いたひまわり



1992年 《山田池公園の春》の頃

## 展覧会構成

### 第1章「私も大きな絵ば描きたかった」－パラダイスへの第一歩－

第1章では、シスコさんが本格的に制作を始めた1960年代の作品を中心に紹介します。

熊本県の干拓地に生まれた塔本シスコさんは、1933年、20歳で塔本末藏さんと結婚します。家事や子育て、そして戦後は熊本市内で食堂を開いた末藏さんを支えつつ、自宅では鈴虫や金魚、チャボなどの小さな生き物たちを飼い、子どもたちと一緒に外へ出かけてスケッチを楽しむ生活を送ります。ところが、1959年、末藏さんが事故で突然亡くなってしまいます。深く悲しみ、心労が重なったシスコさんは、1961年に軽い脳溢血で倒れますが、石を彫って作品をつくるなど、リハビリテーションに励み、次第に体調を回復させていきました。

1966年、画家を目指していた息子の賢一さんが家を出て働き始めると、シスコさんは、賢一さんが家にのこした作品の油絵具を包丁で削り落とし、その上に自分の作品を描き始めます。《秋の庭》や《夕食後》は、この時期に描かれた作品です。

こうして53歳にしてシスコさんの絵を描く生活が始まり、心の内に広がるパラダイスを描き出す最初の一步を踏み出しました。



《秋の庭》1967年



《夕食後》1967年

### 第2章「どがんねえ、よかでしょうが」－熊本から大阪へ－

1970年の夏、シスコさんは、息子の賢一さんと同居するため、京都と大阪の中間地点、大阪府枚方市の一軒家に引っ越します。庭の周りにひまわりを育て自ら作り出した景色に、故郷の田植え風景を重ね、異なる時間と空間が一つの画面に溶け合った《長尾の田植風景》が公募展で入賞し、絵を描くことへの自信を得ます。

シスコさんの絵に惹きつけられた人々との出会いから、次第に発表の機会が広がります。展覧会を目標に描き、展覧会に人に褒められ、訪れた人に「どがんねえ、よかでしょうが」と気さくに話しかけるシスコさんは、80歳代に入って更に旺盛な制作を重ねました。

第2章では、枚方市に移り住んでからの風景作品を中心に紹介します。



《長尾の田植風景》1971年



《山田池の春 シスコとハット》1999年

### 第3章 「ムツゴロウが潮に乗って跳んでさるく」－ふるさとの思い出日記－

第3章では、シスコさんが70歳を過ぎてから、熊本で過ごした子ども時代を振り返って描いた一群の作品を紹介します。

シスコさんは、自身が見て、感じた、大正から昭和初期の故郷の風景を、記憶を丹念にたどりながら描いています。

「熊本県宇土ノ花園ノ五色山へ原先生と三人で行き びつくりたまげた絵」(《五色山の思い出》1988年)のように、画面の中に説明を書き込むのはシスコさんの特徴の一つですが、当時のことが忘れ去られていくなかで、状況が少しでも正確に伝わるようにと努めたことだったのかもしれませんが。



《五色山の思い出》1988年

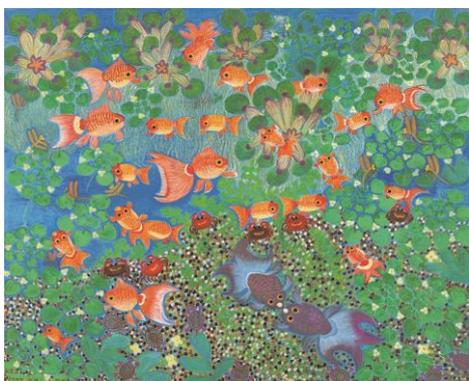
### 第4章 「私にはこがん見えるったい」－あふれるシスコ・パラダイス－

第4章では、植物や動物など、シスコさんにとって身近な存在を描いた作品を紹介します。

多くの作品に共通して言えることですが、とりわけ植物を描いた作品では、明るく鮮明な色彩があふれています。《金魚 大和錦の産卵》では、にがりのない鮮明な色彩で画面をこまやかに埋め尽くしていくシスコさんの特徴がよく表れています。

ネコはシスコさんの家では、大切な家族の一員でした。飼猫だけではなく、近所の野良猫たちも、シスコさんにとっては、大切な話し相手であり、親しい隣人でした。

シスコさんが身近な植物や生き物に心を向け、それぞれが宿す生命感を深く見つめ描きだそうとすることで、シスコ・パラダイスは、とめどなく溢れ、広がっていきました。



《金魚 大和錦の産卵》1992年



《ネコ》1996年

### 第5章 「また新しかキャンバスを持って来てはいよ」－とまらないシスコ・ワールド－

第5章では、家族とのつながりや、日々の楽しい出来事を描いた作品を中心に紹介します。

シスコさんにとって、家族は重要なモチーフであり続けました。自分の作品を見に来てくれる人たちを喜び、出合いを大切にしました。自身が注目される晴れ舞台でもある展覧会など、楽しいこと、にぎやかなことが大好きでした。近所の人たちに囲まれながらテレビの取材を受ける様子を描いた《NHKがやってきた》には「シスコのおまつり」と裏書きされ、シスコさんの高揚感が伝わってきます。

80歳代になっても制作意欲は衰えず、シスコさんは家族に「また新しかキャンバスを持って来てはいよ」と言っただけで、作品を描き続けました。



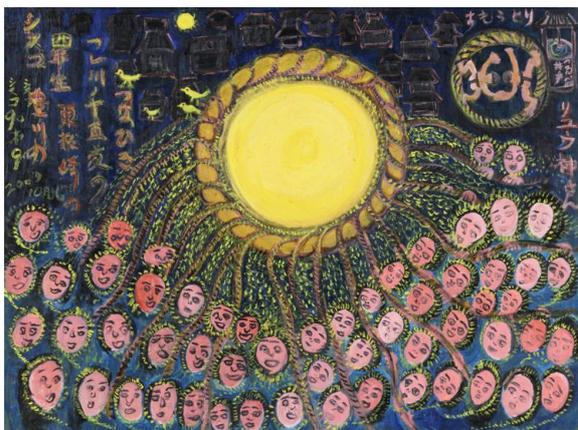
《NHKがやってきた》1995年

## 第6章 「私は死ぬるまで絵ば描きましょうたい」－シスコの月－

第6章では、シスコさんが晩年に描いた作品を紹介します。

88歳の夏、シスコさんは貧血で倒れ認知症を発症します。そうしたなかでも創作のエネルギーが衰えることはありませんでした。最晩年、シスコさんは不思議な絵を描きます。幼児が発達段階の過程で描く「頭足人」を思わせる、頭と手だけの村人たちが集まった《フレ川綱引き》は、プリミティヴな熱気を放っています。ものを見て描くのではなく、心にとどめてきたイメージを表出させたシスコさんの真骨頂を示す一点です。

絶筆は力強く輝く満月でした。それは、何ものにも媚びずに生きた、シスコさんの命の煌めきかもしれません。



《フレ川綱引き》2003年



《シスコの月》2004年(絶筆)

## 第7章 「シスコは絵を描くことしかデキナイのデ困った物です」

－かかずにはいられない！－

第7章では、シスコさんの描きたいという衝動が、様々な表現に広がっていった様子を紹介し

ます。シスコさんの表現は油絵に限らず、スケッチや作陶、和装の人形作りなど、とどまるどころを知りません。たとえば、素麺が収められていた木箱、竹筒、木製の引き出し、お酒の空き瓶、しやもじにまで絵を描きました。きっとシスコさんの眼には、身のまわりのすべてが、素敵なキャンバスに見えたのでしょう。

さらに、シスコさんは作陶にまで手を広げ、《鳥の精》のような一連の作品を残しています。これらの作品には、ある種の神秘性が宿っています。それは自然への崇拝であり、鎮魂の想いなどであり、平面の作品にはないシンボリックなイメージが託されているように感じられます。



《花》2004年



《鳥の精》2002年

## ■ 関連プログラム (予定)

### ◆ナンヤローネ アートツアー

アートコミュニケーション作品《Such Such Such》を体験しながら、展示作品の魅力を味わいます。

日時：令和4年4月30日(土) 14:00～15:30

会場：岐阜県美術館

備考：申込み方法などの詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

### ◆ナンヤローネ アートアクション

美術作品や造形素材などを通して、シスコの世界の魅力を体験します。

日時：令和4年5月7日(土) 10:30～12:00、13:30～15:00

会場：岐阜県美術館

備考：申込み方法などの詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

### ◆ナイトギャラリートーク

日時：令和4年5月20日(金) 19:00～19:30

令和4年6月17日(金) 19:00～19:30

会場：岐阜県美術館 展示室3

備考：申込み不要、ただし観覧券が必要

### ◆太下義之×日比野克彦トーク クリエイティブ・エイジング

日時：令和4年5月5日(木・祝) 14:00～15:30

会場：岐阜県美術館 講堂

出演：太下義之(文化政策研究者、同志社大学経済学部教授)

備考：申込み不要、ただし観覧券が必要

### ◆お孫さんにシスコのことをきく

日時：令和4年5月21日(土) 14:00～15:00

会場：岐阜県美術館 講堂

出演：福迫弥麻、塔本研作

備考：申込み不要、ただし観覧券が必要

### ◆保坂健二郎×日比野克彦トーク

日時：令和4年6月4日(土) 14:00～15:30

会場：岐阜県美術館 講堂

出演：保坂健二郎(滋賀県立美術館ディレクター)

司会：中日新聞文化芸能部デスク 中村陽子

備考：申込み不要、ただし観覧券が必要

### ◆スライドトーク

日時：令和4年6月5日(日) 14:00～15:00

会場：岐阜県美術館 講堂

出演：鳥羽都子(担当学芸員)

備考：申込み不要、ただし観覧券が必要

**■ 同時開催**（※会期中、同展観覧券の半券にてご観覧いただけます。）

- ◆ 「1980年代の美術」  
令和4年4月5日（火）～7月22日（金）
- ◆ 「日本からメキシコへ、メキシコから日本へ  
キシオ・ムラタ展」  
令和4年4月5日（火）～7月22日（金）
- ◆ 「ルドンの色」  
令和4年4月5日（火）～7月22日（金）
- ◆ 「ぎふの日本画 東に歩む」  
令和4年4月5日（火）～6月26日（日）
- ◆ 「特集：ラリッサ・サンスール」  
令和4年4月19日（火）～6月26日（日）

## ～ご来館のみなさまへおねがい～

岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行なっています。

- ・発熱、咳などの風邪症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。
- ・入館にあたり、マスクの持参・着用、こまめな手洗い・消毒、来館者同士の距離の確保にご協力ください。

- 展覧会については、感染症拡大防止対策のため、延期・中止する場合があります。  
詳細は岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索



岐阜県美術館企画展



## 広報画像貸出申込書

FAX 送信番号：058-271-1315


**岐阜県美術館**  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

「塔本シスコ展シスコ・パラダイス  
かかずにはいられない！人生絵日記」

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名：)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL：	FAX：	
	E-mail：		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 ( 月号 ) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

 はい 画像データ到着希望日 ( 月 日 )
  いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	塔本シスコ《ひまわりの中で インコ》1987年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	②	塔本シスコ《もらったラン、もらったシクラメン》1996年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	③	塔本シスコ《オノダチの大運動会》2001年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	④	塔本シスコ《夕食後》1967年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	塔本シスコ《秋の庭》1967年 世田谷美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	塔本シスコ《長尾の田植風景》1971年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	塔本シスコ《山田池の春 シスコとハト》1999年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	塔本シスコ《五色山の思い出》1988年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	塔本シスコ《金魚 大和錦の産卵》1992年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑩	塔本シスコ《ネコ》1996年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑪	塔本シスコ《NHKがやってきた》1995年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑫	塔本シスコ《フレ川綱引き》2003年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑬	塔本シスコ《シスコの月》2004年 (絶筆) 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑭	塔本シスコ《花》2004年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑮	塔本シスコ《鳥の精》2002年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑯	1992年《山田池公園の春》の頃

## ■広報画像一覧

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



## 【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。